

自然産卵を利用したサケの資源増殖効果の解明

背景

遺伝的多様性の維持や稚魚の生残率向上のため、自然産卵魚の保全が重要。

成果

1 産卵床の造成



2 海に降りる稚魚の数の把握

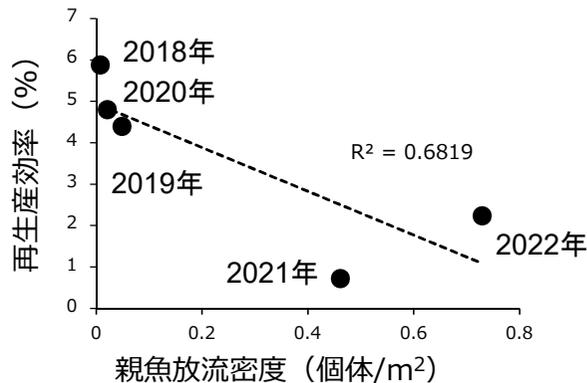


フクベ網と採集されたサケ稚魚



試験河川に放流されたサケ親魚

3 再生産効率の把握



親魚の放流密度と再生産効率
※再生産効率=稚魚の数/産卵数

親魚の数が多すぎると再生産効率を下がる

期待される効果

サケの自然産卵を活用した新たなふ化放流事業の展開に貢献することができる。